

## 電波伝播実験感想

JA1FYQ/佐藤

実験開始時間頃には、既にEsが開き始めておりバズ音がバンド内いっぱい聞こえ、Key局からの開始宣言からチェックインを受付けている時点で、ちょうど240をはさんで2局(5エリア)が出てきて被り始め、Key局の呼びかけのタイミングが被りで、上手くとれなく、その時点での状況が全く把握できない状態になってしまいました。

Es通信は殆ど減衰しない状態で電波が飛んでくるため、移動各局の地上波が全くと言って良いほど抑圧を受けてしまい、思ったほどQSOに成功した局数が少なかったのが残念でした。

午前6時30分起床、宿の窓から天気状況を確認しようとカーテンを開け外を見たたん、  
“なんじゃ～この天気は～”と声を上げてしまいそうな天気！！殆ど台風状態！！  
ともかく朝風呂にと思い、ひと風呂浴びて今日1日の計画を立て、部屋に戻りお茶を飲んでいると、“食事の支度が出来た”との館内放送が流れたので“今日一日の活動力”をかつ食らうべく食堂に行き、久しぶりに朝から“ドンブリめし”を2杯を食し、時間を見ると間もなく8時半になるので、宿を後に台風状態の中を当初予定していた銚子市天王台愛宕山に向けて出発しました。

実験終了間際にKey局からだと思いますが、「再度リポート交換をしたい局はありますか??」と言う意味に聞こえたように思い、まだ聞こえていた局で交換していない局に声をかけてみたいと思いブレイクをかけさせて頂き、許可を得た上で呼ばさせて頂きましたが、残念ながら返事がありませんでした。(多分、お帰り(閉局)になってしまったと思います。)

《宿泊:国民宿舎 飯岡荘 (千葉県旭市飯岡町横根)》